

平成26年7月11日
独立行政法人水資源機構
沼田総合管理所

平成26年7月9日 前線に伴う出水で
やぎさわ ならまた ぼうさいそうさ
矢木沢ダム、奈良俣ダムは防災操作を行いました

防災操作により矢木沢ダムに約150万m³、奈良俣ダムに約14万m³を貯留

前線による降雨により、矢木沢ダム流域では、7月8日19時頃から9日5時までに総雨量約39mm（矢木沢ダム流域平均）を観測しました。

この降雨によってダムへの流入量が増えたことにより、9日2時00分に流入量が洪水量（最大で毎秒約222立方メートル）に達したため、防災操作を実施しダムに約150万立方メートルを貯留しました。

奈良俣ダム流域では、7月8日19時頃から9日5時までに総雨量41mm（奈良俣ダム流域平均）を観測しました。

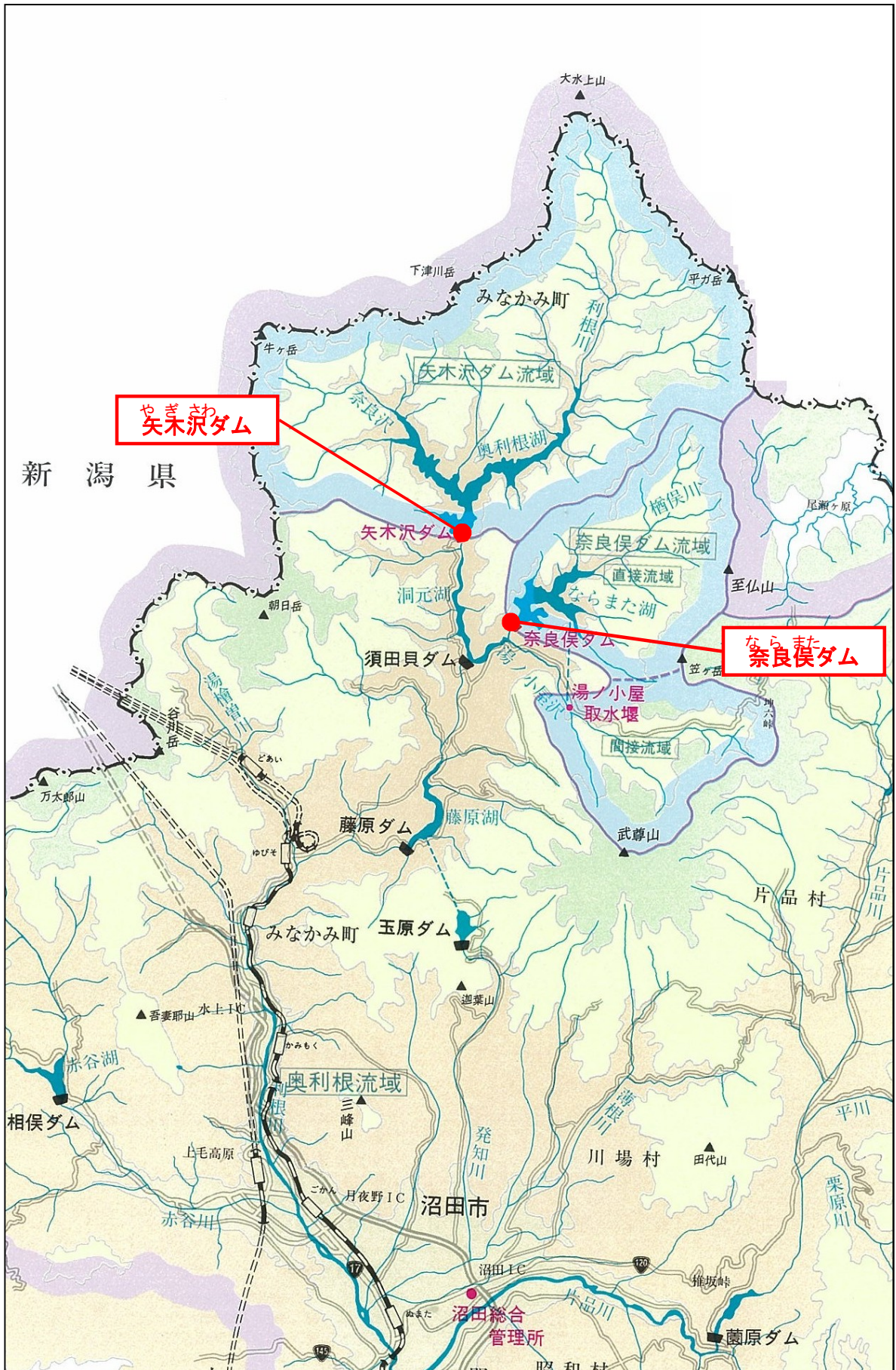
この降雨によってダムへの流入量が増えたことにより、9日2時30分に流入量が洪水量（最大で毎秒約95立方メートル）に達したため、防災操作を実施しダムに約14万立方メートルを貯留しました。

今後も、矢木沢ダム及び奈良俣ダムでは適切に防災操作を実施し、下流地域の洪水被害の防止・軽減に努めていきます。

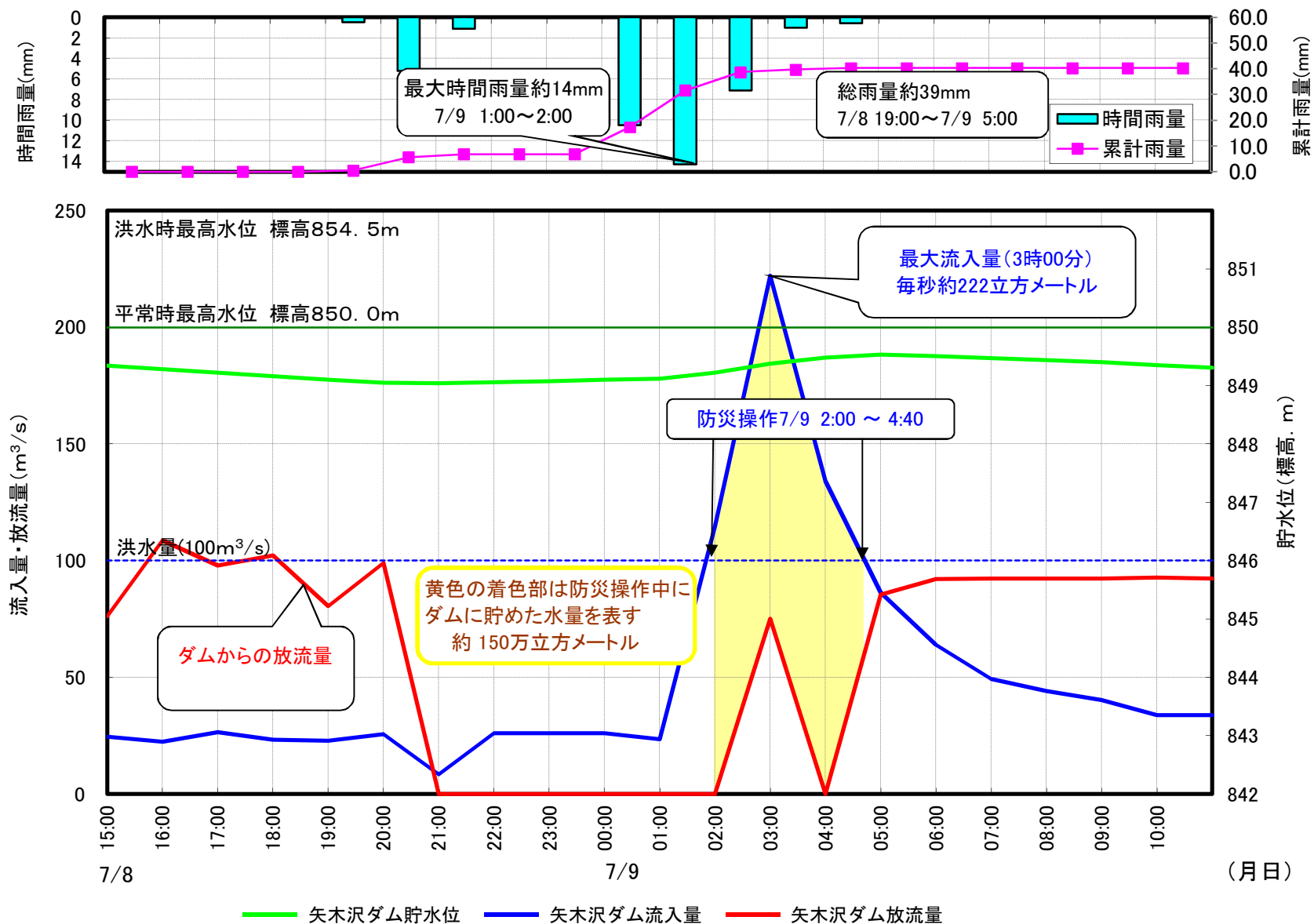
ぼうさいそうさ
※防災操作とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

注) 数値は速報値です。

■位置図



■ 矢木沢ダムの防災操作の状況図



■ 奈良俣ダムの防災操作の状況図

